

参加者募集

第50回 秋のてくてく長久手めぐり

尾張藩の武士になったつもりで

サムライ・ウォーキング iii

雨天時: 問合せ 090-3950-9713 浅井

雨天の場合は中止

日時: 令和4年11月23日(水・祝)

集合時間: 午前9時 帰着予定: 午前11時30分頃

集合場所: 長久手市役所北・第2駐車場

コース: 約6キロ 市役所⇒床机石⇒安昌寺⇒首塚⇒御旗山⇒血の池公園

⇒武蔵塚⇒庄九郎塚⇒勝入塚⇒市役所

参加費無料・マスク着用、距離・高低差があるのでやや健脚向きです。

要予約・募集人数・先着20名

お申し込みは長久手市商工会 0561-62-7111へ



明治末期の安昌寺、本堂後方には家康が戦勝祈願した八幡社が見える

今から 200 年前・・・

文政5年(1822)現名古屋市片端町に住む尾張藩士朝岡宇朝は当時すでに有名古戦場として遠国から訪問者の多い長久手の古戦場に行った事がないことを不本意に思い同僚2名を誘い旧暦10月1日、長久手古戦場へ徒歩で道々詩を詠みながら日帰り旅をしました。

住居にはありふれ・見慣れた風景の農村に城下町から才気あふれる侍が意気揚々と、平時に戦を忘れぬ・出で立ちで尋ねてきます。この長久手の村に何があるのでしょうか。

参考引用文献・長久手町史他



色金山歴史公園

長久手市商工会・長久手めぐり研究会

首塚

榊を植、前に石碑を建たり

「かいふくは誰か首塚そ枯尾花」

井瀧ケ根(色金山)

松杉しんしんとして登ること一町

「冬紅葉よきいろ金の松間哉」

床机石

神君この石に腰かけあそばし候由

「御床机の石猶高し冬の山」

富士ケ根(御旗山)

おりふし村雲立ちおおい、

雨ははらはらと降り出でぬ

「この富士は雲もかからで時雨哉」

勝入塚

今は残れる塚さへ半は崩れ、いと哀し

「水枯や池田も今は山の土」

庄九郎塚

父討たれしと聞、響を返し共に討死す

「爰はかり松も時雨よ塚の上」

武蔵塚

世に有りし時は鬼武蔵と仇名せし強傑

「鬼と呼ぶあざみも枯れて塚の霜」